


# 伝統産業麻布の生産

近江上布じょうふと呼ばれる麻織物は、「ほぐし」「かすみ」などの手法を用いて生産されますが、ここでは伝統的な「**紺**」の生産工程を紹介します。

「紺」の生産工程

1  
図案設計

2  
整経せいけい



3  
紺括りかすり

4  
染色下準備

5  
染色




7  
紺ほぐし・紺経系の柄合わせたていと



6  
天日乾燥てんび



8  
あぜ割り



9  
箆通しおさ



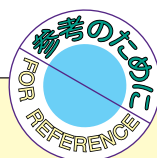
10  
機巻きはた



## 近江上布

近江上布(麻織物の呼称)の起源は不詳ですが、秦荘の金剛輪寺に室町時代の文書が現存し、その当時麻布の製織が行われたことが記録されています。そもそも近江は周辺を山々に囲まれ、中央の琵琶湖より発する湿気が麻の製織に最適であり、またきれいな水質であったことが麻布発展の大きな要因となりました。

江戸時代に入り、彦根藩は農家の副業として麻製造に大いに力を入れ奨励しました。製織された麻布は、近江商人により全国に行商販売され、各地の物産の交流の中心となりました。



11  
機織り

